

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和6年7月29日（月）

2 確認箇所

増設多核種除去設備（図1）

3 確認項目

増設多核種除去設備の現況

4 確認結果の概要

福島第一原子力発電所では「増設ALPS配管洗浄作業における身体汚染（令和5年10月）」や「高温焼却炉建屋からの放射性物質を含む水の漏えい（令和6年2月）」など、汚染水処理設備に関するトラブルが連続して発生している。

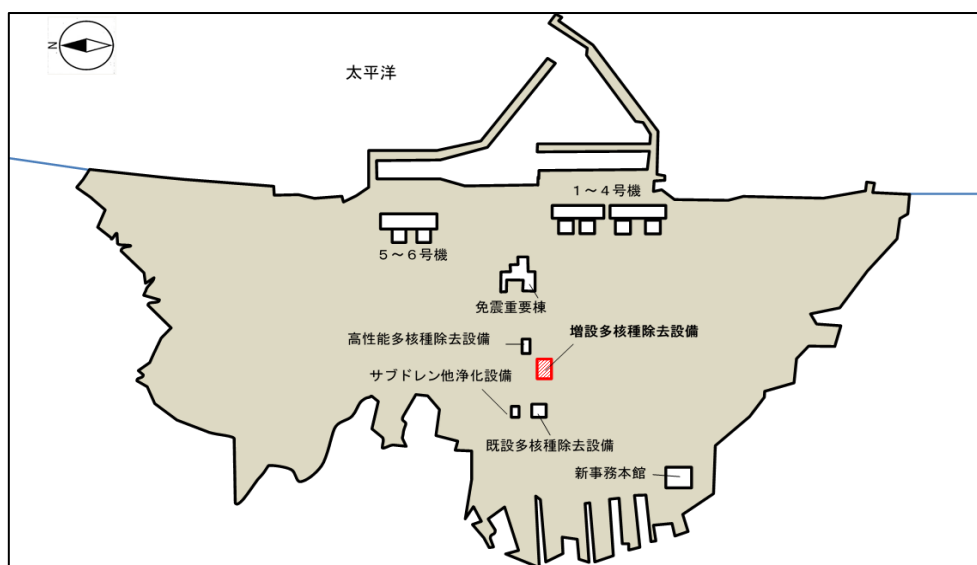
そのため、汚染水処理設備の運転状況や設備機器のメンテナンス状況を適宜確認している。本日は、増設多核種除去設備（以下「増設ALPS」という。）を確認した。（写真1）

なお、確認時における増設ALPSの運転状態は次のとおりであった。

A系：停止中 B系：循環待機中 C系：停止中

- ・ 現場確認時に、塩酸※を吸着塔に供給するためのポンプのメンテナンス（設備の劣化状況の確認、試運転等）が行われていた。（写真2）
- ・ 万が一の塩酸漏えいに備え、設備の近くにいる作業員は、防毒フィルタ付き全面マスクや耐酸性長靴を着用していた。
- ・ 当該作業は、東京電力社員立ち合いのもとで実施されていた。
- ・ 上記作業状況の他、建屋内を確認した範囲では、配管や設備からの漏えいや水たまり等の異常は認められなかった。

※ 塩酸は、処理する汚染水のpHを調整するために吸着塔に注入される。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1)
増設ALPS建屋内の状況



(写真2-1)
塩酸供給設備ポンプのメンテナンス
状況①



(写真2-2)
塩酸供給設備ポンプのメンテナンス
状況②

5 プラント関連パラメータ等確認

本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。